

# 地域スポーツコミッション シンポジウム in 名古屋

2022  
2/14 月

会場：名古屋国際センター

(名古屋市中村区那古野一丁目 47 番 1 号 名古屋国際センター 別棟ホール)

定員：300名

オンライン開催

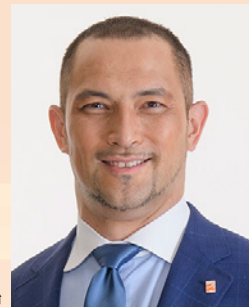
## プログラム

### ● メイン会場 (ホール)

13:00～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主催者代表あいさつ 室伏 広治 スポーツ庁長官 (ビデオメッセージ)</li> <li>・開催地代表あいさつ 杉野 みどり 名古屋市副市長</li> </ul>
13:15～	<p><b>基調講演 「スポーツによる地域活性化 ～地域スポーツコミッションが果たす役割～」</b> 原田 宗彦 氏 (一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 代表理事 / 大阪体育大学 学長)</p>
14:00～	<p><b>地域スポーツコミッション設立にあたって</b> コーディネーター：中山 哲郎 氏 (一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 事務局長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋スポーツコミッション 棚橋 英里佳 氏 (名古屋市スポーツ市民局スポーツ推進部スポーツ戦略室 係長)</li> <li>・笠間スポーツコミッション 横山 孝夫 氏 (笠間市都市建設部都市計画課 課長)</li> </ul>
休憩 15分	
15:00～	<p><b>スポーツによる地方創生・まちづくり</b> コーディネーター：藤原 直幸 氏 (一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 地域スポーツ戦略ディレクター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ庁参事官 (地域振興担当) 原口 大志</li> <li>・裾野市スポーツツーリズム推進協議会 大友 潤一 氏 (裾野市産業振興課 スポーツツーリズム担当主査)</li> <li>・一般社団法人 ツノスポーツコミッション 石原 英明 氏 (代表理事)</li> <li>・一般社団法人宇部市スポーツコミッション 平本 貴法 氏 (事務局)</li> </ul>
16:30～	<p><b>今後のスポーツ庁の取り組みについて</b> スポーツ庁参事官 (地域振興担当)</p>

## 主催者代表あいさつ

室伏 広治 スポーツ庁長官



室伏 広治

## 開催地代表あいさつ

杉野 みどり 名古屋市副市長

## 基調講演

### 「スポーツによる地域活性化 ～地域スポーツコミッションが果たす役割～」

〈講演者〉原田 宗彦 氏（一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 代表理事 / 大阪体育大学 学長）

1954年大阪生まれ。84年ペンシルバニア州立大学博士課程修了（Ph.D.）。フルブライト上級研究員、大阪体育大学教授、早稲田大学スポーツ科学学術院教授を経て、現在は大阪体育大学学長。主な著書に、『スポーツイベントの経済』（2002年）、『スポーツマーケティング』（2008年）、『スポーツ都市戦略』（2016年）、『スポーツ地域マネジメント』（2020年）、『スポーツ産業論第7版』（2021年）など。一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構代表理事、日本スポーツマネジメント学会会長、日本バレーボール協会理事などを務める。



原田 宗彦氏

## 地域スポーツコミッション設立にあたって

コーディネーター：中山 哲郎 氏（一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 事務局長）

### ・名古屋スポーツコミッション（2021年度スポーツ庁補助事業採択／プロスポーツ連携）

2021年9月設立。名古屋市、名古屋商工会議所、プロスポーツチーム等から構成された官民連携の組織として、トップスポーツチームや大規模大会が開催可能な施設を有するといった名古屋の強みを活かした取り組みを行っている。

棚橋 英里佳 氏（名古屋市スポーツ市民局スポーツ推進部スポーツ戦略室 係長）

2017年より観光文化交流局ナゴヤ魅力向上室にて、スポーツ及びコスプレというコンテンツを用いた名古屋の魅力の向上・発信業務に従事。その後東京2020に向け、カナダ車いすバスケットボールチームの事前キャンプ誘致・実施に取り組む。2020年度から新設されたスポーツ市民局スポーツ戦略室に異動。名古屋スポーツコミッションの立ち上げに携わり、2021年9月の発足に尽力。

### ・笠間スポーツコミッション（2020年度スポーツ庁補助事業採択／アーバンスポーツ）

2021年3月設立。笠間市、(株)ムラサキスポーツ、他関係機関によって構成される公民連携組織。国内最大級の本格スケートパーク「ムラサキパークかさま」を活用し、スケートボード大会やイベント誘致、スポーツツーリズムの検討など、スポーツによる地域活性化を推進している。2021年12月には日本スケートボード選手権の開催を実現。

横山 孝夫 氏（笠間市都市建設部都市計画課 課長）

1996年茨城県入庁。ナショナルサイクルルートに選定された「つくば霞ヶ浦りんりんロード」等の担当を経て、2019年4月から現職。スケートパーク建設やスポーツコミッション立ち上げに携わる。歴史と文化に彩られた笠間市で、アーバンスポーツをどう生かしていくか、「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」を目指して試行錯誤の毎日。スケートボードはド素人。

## スポーツによる地方創生・まちづくり

コーディネーター：藤原 直幸 氏（一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 地域スポーツ戦略ディレクター）

### ・スポーツ庁

原口 大志（スポーツ庁参事官（地域振興担当））

1974年、広島県生まれ。1999年に農林水産省入省。入省後、農林水産省において食品流通行政、農協行政等に携わるとともに、内閣官房・内閣府において地域再生法の策定を担当。その後、2006年から水産庁漁業保険管理官補佐、在カナダ日本国大使館1等書記官、水産庁企画課総括補佐、経営局総務課総括、水産庁漁政課総括等を歴任。2016年から水産庁資源管理部国際課漁業交渉官、在中華人民共和国日本国大使館参事官を経て、2020年から現職。

### ・裾野市スポーツツーリズム推進協議会（2021年度スポーツ庁補助事業採択 / 準高地トレーニング / サイクル）

2018年3月30日設立。富士山麓の自然環境、標高の高さ、首都圏からのアクセス等を生かしたスポーツ合宿の誘致を推進している。また、スポーツイベント誘致・開催支援やアウトドアスポーツツーリズムへの展開にも取り組んでいる。

大友 潤一 氏（裾野市産業振興課 スポーツツーリズム担当主査）

2008年4月に入庁し、2012年3月までを商工観光課、2012年4月～2018年3月までを税務課で勤務する。2018年4月からは静岡県スポーツ局スポーツ振興課に出向し2019年4月より現職である産業振興課スポーツツーリズム担当に就任する。

### ・一般社団法人ツノスポーツコミッション（サッカーチームの誘致 / 地域おこし協力隊）

2019年4月設立。5月に法人化。同年8月には都農町・J.FC宮崎（ヴェロスクロノス都農）・ツノスポーツコミッションの三者による「つの職育プロジェクト」に関する連携協定を締結し、地域の課題解決に向けた取り組みを開始。2020年4月にツノスポーツアカデミーを開校。地域を巻き込んだ人材育成にも力を入れる。

石原 英明 氏（代表理事）

2008年早稲田大学大学院修士課程修了後、FC岐阜にフロントスタッフとして入社。以来、地域スポーツクラブの設立、Jクラブ・地域サッカークラブの運営など、地域とスポーツに関する実務家として様々な地域で活動。2019年4月地域おこし協力隊として都農町に移住。ツノスポーツコミッション設立に携わり、2020年4月から代表理事を務める。人生のバイブルはキン肉マン。

### ・一般社団法人宇部市スポーツコミッション（自治体事業から法人化／インナー（住民向け）事業）

2014年10月設立。2018年11月法人化。スポーツに関する情報・人材・関係団体をつなぐネットワーク組織である。市民の様々なスポーツ・健康づくりに関するニーズに応え、スポーツ機会の拡大や健康づくり・体力づくりを進めていくとともに、スポーツによる交流人口の増加や地域活性化を進めている。

平本 貴法 氏（事務局）

2004年広島YMCA健康福祉専門学校を卒業後、インストラクターとして宇部市内のフィットネスクラブで勤務。10年間のクラブ勤務を経て独立し、独立後は行政や企業等と連携し指導のすそ野を広げる。宇部市スポーツコミッション設立に運営メンバーとして携わり、2015年6月より同団体の専属職員に。スポーツを通じた元気なひとの元気なまち・宇部市の実現を目指しながら、現在に至る。

## 今後のスポーツ庁の取り組みについて

